

第87回 西部センター・西部公民館 共催
グラウンドゴルフ大会

- 【日付】 令和8年4月25日(土) ※雨天時は4月26日(日)に延期
- 【時間】 受付：午前8時30分～ 開会：午前9時00分～
- 【会場】 天神グラウンド
- 【対象】 西部公民館区に在住の、小学校4年生以上の方。
- 【申込】 不要(直接会場へお越しください)
- 【その他】 雨天時の実施の決定は、午前8時ごろに行います。
感染症の状況によっては、中止もしくは延期する場合があります。
(西部センターまでお問い合わせください)
- 【問合せ】 西部センター 電話：0739-22-0693

西部地域の皆さまへ(お礼)

春のやわらかな日差しとともに、新しい年度が始まります。地域の皆さまには、日ごろより公民館活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

西部公民館は本年度も、西部町内会連絡協議会、生涯学習(人権)推進員、スポーツ推進委員、西部地区民生児童委員協議会、西部補導委員連絡協議会、田辺第三小学校、田辺第三小学校育成会、西部子どもクラブ、西部老人クラブ連合会、明洋中学校、もとまち保育所、西部センター、天神児童館、そして地域関係者の方々と協力し、地域の皆さまが世代を超えて気軽に集い、学び合い、交流できる大切な場づくりに努めてまいります。

本年度も皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

令和8年4月1日

田辺市西部公民館長 藤堂 素子

西部公民館だより

令和8年4月号



【発行】西部公民館
【館長】藤堂 素子 【主事】小倉 拓
【事務所】田辺市東山一丁目5番1号(本庁舎5階)
【TEL】26-4908 【FAX】24-8323
【館区の人口と世帯数】(令和8年2月末現在)
4,593人(男2,099人・女2,494人) 2,706世帯

西部地区の民生委員・児童委員のご紹介

そうだんないよう おう てきせつ かんけいきかん
相談内容に応じて適切な関係機関に
しえん やく
よる支援への「つなぎ役」になります

西部地区民生児童委員は、各町内ごとに地域住民の一員として活動しています。



しゅにんじどういん こ こそだ
主任児童委員は子どもや子育てに
かん せんもん かつどう
関することを専門に活動しています

あなたの身近な相談相手です。
お気軽にご相談下さい。
相談内容の秘密は守ります。

田辺市民生児童委員協議会
西部地区民生児童委員協議会

氏名	担当地区
福田 晃久	江川
鈴木 孝	江川
欠員	江川
欠員	江川榊湯
熊代 了三	古尾
山下 洋子	古尾
欠員	出立本町・瓦町
欠員	御所谷
廣野 雅泰	西郷

氏名	担当地区
林 靖子	益穂
矢倉 靖彦	益穂
柳岡 勝	天神
前田 司枝	天神
谷川 道晴	立戸
松本 恵	目良団地
宮本 奈々子	シーサイド天神崎・目良の一部
津葉井 宏	目良・千津ヶ谷・明洋一丁目の一部
長野 正	西部(主任児童委員)
坂本 明子	西部(主任児童委員)

【問合せ】 福祉課 庶務係 [電話] 0739-26-4900



田辺第三小学校「清心自立」3月号

おかげさん

3月はお別れの月です。田辺第三小学校では、いつも『出逢いと別れ』は大切にしたいと考えています。そして、多くの『つながり』を思うとき、いつも『おかげさん』という言葉が心に浮かんできます。

詩人の相田みつを氏は

「『おかげさん』でないものは、この世に一つもありません。

みんな『おかげさん』で成り立っているんです」

との言葉を遺しています。『おかげさん=お蔭様』であり、他者からの助力があったことを感謝するという意味です。人の行動によって自分が生かされていることを実感し、感謝の気持ちを伝えることで、また周りから支えられる。助けられる。さらには、自分も人を支えようと思う。結果、豊かな人間関係が築かれる。ということでしょうか。

今後、社会がどのように変化するのか、予測することは大変難しいことですが、社会をつくっているのが「人」である限り、人との関わりがなくなることはありません。望ましい人間関係をつくる力を子供たちに身に付けてもらうためには「いつも誰かに支えられている」ことを実感させたいと考えています。

教職員、保護者の皆様、地域の皆様、行政の方々…子供たちが安心・安全に学べるように支えている人々は、数えきれないほどたくさんいます。しかし、子供たちが自分の力で「おかげさん」に気付くことは難しいでしょう。学校では道徳科の授業を中心として、様々な方々に感謝の気持ちをもつことができるよう、全教育活動を通して指導しています。ご家庭でも、子供たちが数多くの「おかげさん」に気付くことができるよう、問いかけていただけますと幸いです。

本年度、保護者の皆様や地域の皆様には、さまざまな活動にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございました。お世話になった皆様にご心より感謝申し上げます。令和8年度も田辺第三小学校を、また元気な子供たちをよろしくお願いいたします。

卒業記念品『かまどベンチ』製作

今年度の6年生による卒業記念品として、校庭に「かまどベンチ」が設置されました。このプロジェクトは、総合的な学習の時間で取り組んだ「命を守る(防災学習)」の一環として企画されたものです。普段は憩いの場として利用できますが、非常時には座面を外すことで、炊き出し用のかまどとして機能します。製作にあたっては子供たちだけでは難しい部分も多く、出口組さんと田中板金さんにご協力いただきました。お忙しいなか、またとても寒い時期ではありましたが、ご協力いただきありがとうございます。

自分たちの卒業後、もしもの時に学校や地域の人たちの助けになりたいという6年生の志。完成したベンチには、その頼もしい決意が刻まれているようです。ご来校の際は、ぜひご覧ください。



「自主・自律・連帯」4月号 ～ 前程万里 ～

春を迎え、校庭の木々は緑に色づき、花々は華やかになってきました。地域・保護者の皆さま方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。令和8年度もどうぞよろしくお願いいたします。

◇第77回卒業証書授与式(令和8年3月6日)

答辞では、卒業生代表 竹ノ下緒里君が、涙をこらえながら、堂々と心にしみるメッセージを披露してくれました。紹介します(一部略)。

暖かな春の風が別れと新たな出会いを運ぶ季節となりました。私たち、3年生71名は、今日この明洋中学校を卒業し、それぞれの道を歩み始めます。～中略～

そして、私たちは3年生となり、最高の仲間たちとともに数えきれないほどの思い出を作ることができました。真夏のように熱く盛り上がった5月の体育大会。全クラスとも頂点を目指し、全力でぶつかり合いました。特に全クラス対抗の綱引きでは、選手だけでなく、応援する観客の皆さんも一つとなり、熱い戦いが繰り広げられました。また、プログラムの最後を飾ったフォークダンスは、体育大会を笑顔で美しく締めくくる最高の思い出となりました。3年生全員が待ちに待った修学旅行。東京の街並みのすごさに圧倒されたり、ディズニーランドでみんなとはしゃいだり。バスで移動している時間さえも楽しく、3日間が本当にあつという間でしたが、みんなと一生ものの思い出を作ることができました。秋深まる11月の文化発表会。ビッグアート、大道具や照明・音響、広報。そして劇団明洋がひとつになって作り上げた「手のひらの声たち」。「明洋中学校の伝統」というプレッシャーがあったなか、そのプレッシャーを力に変えて、最高の劇をやりとげることができました。すべての行事を終え、私たちは受験モードに突入しました。自分の進路に向けて、努力することは想像以上に大変なことでした。そんななか、支えになったのは3年生のみんなの存在でした。みんながいたから、みんなが支えてくれたから、私たちは今日まですることができました。本当にありがとう。また、今日こうして卒業式を迎えられたのは、私たちを支えてくださったすべての人のおかげです。未熟な私たちを時に厳しく、時に熱心なご指導をしてくださった先生方。いろいろな場面で、私たちに力を貸してくれた後輩の皆さん。たくさん迷惑をかけたけど、いちばんちかくで私たちを見守ってくれた家族のみんな。本当にありがとうございました。私たちの学年の名前は「こう風会」。「こう」の字がひらがなののは、「光」や「幸せ」など様々な漢字が当てはまるからです。それは、私たちの人生も同じです。私たちの人生は希望の光に満ちあふれ、たとえどんな困難、試練があろうと最後は幸せな未来が待っているでしょう。その未来に向かって、私たちは人への感謝、思いやりを忘れず、自分らしく前へ進めるよう、努力し続けます。そして、いつの日か、この素晴らしい仲間たちと再び会える日が来ることを、私は心から願っています。

最後に、今日まで私たちを支えてくださったすべての方々のご健康と、私たちに素晴らしい出会いをくれた明洋中学校の益々のご発展をお祈りし、答辞といたします。